

首都圏ミートパッカー輸出推進協総会、新会員含め役員体制固める

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会（阿部昌史代表理事）は6月25日、第3回定期総会を都内で開催し平成26年度事業報告や27年度事業計画などを承認した。また役員選任で阿部代表理事、原田、桜井の両副代表理事、阿部、森島、宮の3理事、植井会計監査を再任した。また、新たに小堀正展牧場の小堀正展氏とエムケイ開発㈱の河上貴一代表取締役を理事に加えた。



総会で阿部代表理事は「輸出推進で日本産食肉ブランドの認知度向上とブランド確立を目的に協議会を設立して今期で4期目となる。27年度も国の支援事業である輸出拡大サポート事業に参画し、さらに日本畜産物輸出促進協議会においても、より有効な輸出支援事業が継続的に実施されるよう提案や要請活動を実施するとともに、これらのネットワークを生かしながら、当会員の知恵と経験を生かし、海外のユーザーに直接販売するような仕組みづくりとプロモーションを通じて、日本産ブランドの価値を高めていきたい」とあいさつ。総会で新規入会の東京都港区新橋のエムケイ開発㈱東京営業事業部が承認された。

27年度事業は①産地間連携などによる海外での販路開拓（日本食材の理解と調理技術に関する事例紹介セミナーinタイ、日本食や和食へのメニュー化に関する事例紹介セミナーinタイ、日本食や和食へのメニュー化に関する事例紹介inベトナム）②輸出環境整備を図る取り組み（輸出拡大のためHACCPシステムによる工程管理をベースに、SQFシステムによる信頼性と食品安全、品質向上に取り組む）などを実施する。

中央畜産会が「農場HACCP推進農場」第15次指定農場を公表

公益㈱中央畜産会は6月30日、6月16日までに申請のあった9農場について、農場HACCP推進農場指定審査委員による審査の結果、「農場HACCP推進農場」の指定要件を満たしていると認められたことから、申請全農場を推進農場として指定。同会ホームページに公表した。6月末現在における農場HACCP推進農場の指定農場数は計142農場（牛34、豚68、鶏40）。今回の指定農場は次のとおり。

【乳用牛】㈱アイミルクファクトリー（埼玉県熊谷市）【豚】㈱高森農場（熊本市北区）▽沖縄県食肉センター辺名地農場（沖縄県本部町）▽沖縄県食肉センター数久田農場（沖縄県名護市）▽くにがみ畜産（沖縄県国頭村）▽旭ファーム㈱第1農場（鹿児島県さつま町）▽【採卵鶏】㈱グリーンファームソーゴ（京都府福知山市）▽㈱安井ファーム（富山県上市町）▽愛媛飼料産業㈱菊間ファーム（愛媛県今治市）